

ZENRIN

株主のみなさまへ

第55期 中間報告書

2014.4.1-2014.9.30

[特集] 事業紹介 ーグローバル事業・その他事業ー

株式会社 ゼンリン

証券コード 9474

Maps to the Future

トップメッセージ

事業環境の変化に対応した新商品開発や競争力向上のための時空間データベース(以下、DB)の開発・整備を着実に進めております。

株主の皆様には、
日頃よりご支援賜り
誠に有難うございます。



2014年12月

代表取締役社長

たか やま ぜん し
高山善司

第55期第2四半期の業績

売上高はスマートフォン向けサービスや事業再編などで減収
売上構成変化や一部費用が下期発生で業績予想を上方修正

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策の効果等から国内景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費や企業収益に一時的な影響が残ることに加え、海外景気の下振れなど、引き続き国内景気を下押しするリスクを残したまま推移いたしました。

このような環境の中、スマートフォン向けサービスの有料会員減少や、子会社のセールスプロモーション事業からの撤退などにより、売上高は22,556百万円（前年同期比1,453百万円減少、6.1%減）、営業損失は308百万円（前年同期比348百万円悪化）、経常損失は18百万円（前年同期比244百万円悪化）となりました。また、事業再編に伴う子会社の繰越欠損金に係る繰延税金資産の影響などによる法人税等調整額△735百万円を計上したことなどから、四半期純利益は194百万円（前年同期比445百万円改善）となりました。

なお、5月8日公表の第2四半期の業績予想に対しては、国内カーナビゲーション用データや住宅地図DBを活用したGIS関連が堅調であったことに加え、地図DB整備や新規開発案件に係る一部費用が下期発生となったことで、10月24日に「業績予想の修正に関するお知らせ（上方修正）」を公表いたしました。

第55期の通期業績予想

通期業績予想は据え置き 生産性改善や時空間DBの開発・整備を継続

第2四半期におきましては、国内カーナビゲーション用データや住宅地図DBを活用したGIS関連が堅調に推移いたしました。しかしながら、カーナビゲーション用データの販売に大きな影響を与える国内新車販売台数は今後も減少する見込みであることや、携帯電話事業会社間の競争が激化する中でのスマートフォン向けサービス有料会員の動向など、依然として当社グループを取り巻く環境に不確定な要素が多いことから、通期業績予想は据え置くことといたしました。

引き続き生産性改善や経費削減に取り組みながら、今後の事業展開に不可欠な時空間DBの開発・整備を継続して進め、通期業績予想の達成に向け、役員、社員一丸となって取り組んでまいります。

なお、時空間DBの構築は着実に進めており、当DBを活用した新たなサービスの早期立ち上げに注力してまいります。

第2四半期の業績 (単位:百万円)

	前 期	業績予想(5/8)	修正開示(10/24)	当 期
売上高	24,010	22,500	22,550	22,556
営業利益	39	△1,000	△300	△308
経常利益	225	△800	△20	△18
四半期純利益	△250	△300	190	194

通期業績予想 (単位:百万円)

	前 期	業績予想(5/8)	増 減
売上高	53,589	52,300	△1,289
営業利益	3,180	2,800	△380
経常利益	3,663	3,100	△563
当期純利益	1,272	2,100	827

※第2四半期の業績、通期業績予想記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株主の皆様への利益還元について

中間配当金は当初予定どおり1株当たり15円 年間配当金は1株当たり30円を予定

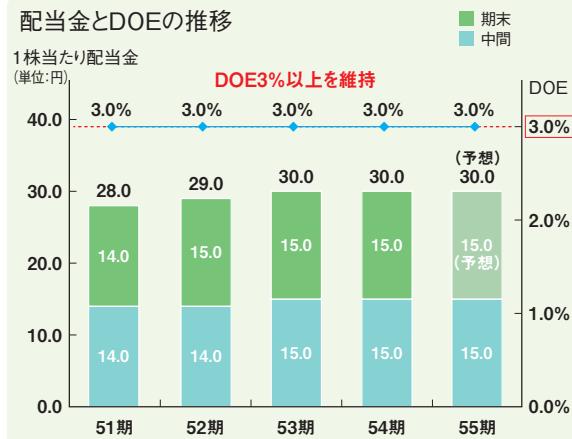
当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題と位置付け、持続的な企業価値の向上に取り組むとともに、連結ベースでの中期経営計画における利益成長に基づいた、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針として、連結株主資本配当率(DOE)*3%以上を維持することを目標としております。

第55期の中間配当金につきましては、当初予定どおり1株当たり15円とさせていただきます。また、期末配当金も1株当たり15円を予定しており、年間配当金は1株当たり30円とさせていただきます。

*連結株主資本配当率(DOE)

株主資本は資本金、資本剰余金、利益剰余金の合計から自己株式の額を控除したもの。

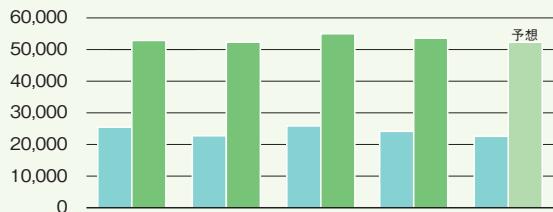
DOE=配当総額÷株主資本



連結財務ハイライト

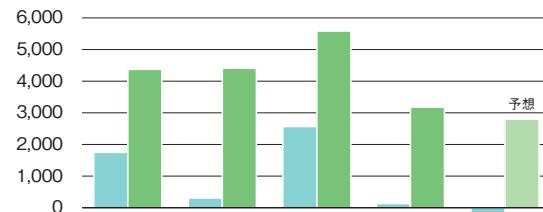
■ —●— 中間期(第2四半期連結累計期間) ■ —●— 通期

売上高 (単位:百万円)



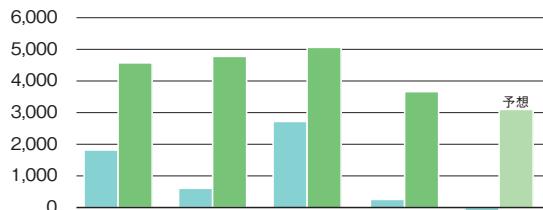
	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
■ 中間期	25,452	22,744	25,849	24,010	22,556
■ 通期	52,880	52,322	54,991	53,589	52,300 (予想)

営業利益 (単位:百万円)



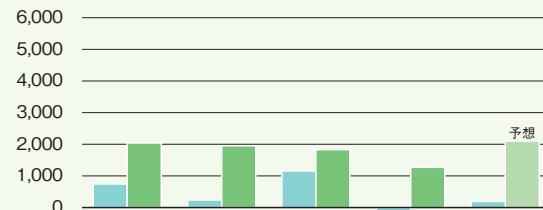
	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
■ 中間期	1,750	305	2,565	39	△308
■ 通期	4,373	4,408	5,585	3,180	2,800 (予想)

経常利益 (単位:百万円)



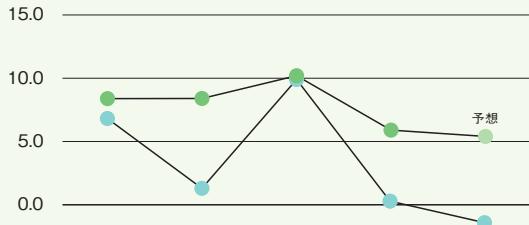
	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
■ 中間期	1,818	608	2,735	225	△18
■ 通期	4,572	4,777	5,076	3,663	3,100 (予想)

当期(四半期)純利益 (単位:百万円)



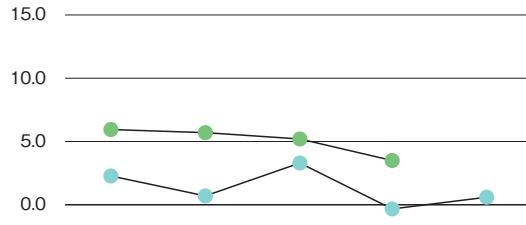
	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
■ 中間期	745	239	1,161	△250	194
■ 通期	2,041	1,952	1,835	1,272	2,100 (予想)

売上高営業利益率 (単位:%)



	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
● 中間期	6.9	1.3	9.9	0.2	△1.4
● 通期	8.3	8.4	10.2	5.9	5.4 (予想)

自己資本利益率(ROE) (単位:%)



	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
● 中間期	2.3	0.7	3.3	△0.7	0.5
● 通期	6.1	5.7	5.2	3.5	-

特集 事業紹介 – グローバル事業・その他事業 –

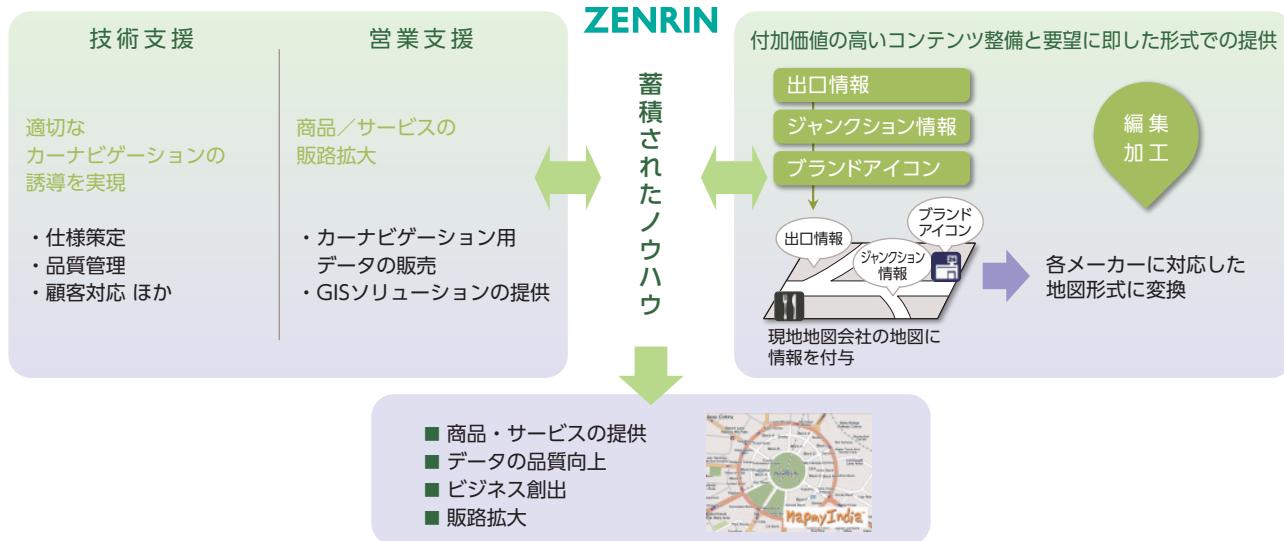
前回までの特集にて、広告事業からITS事業を紹介してまいりましたが、今回は最後となりますグローバル事業とその他事業をご紹介します。



1. グローバル事業とは

グローバル事業とは当社がこれまで培ってきた豊富な実績と独自のノウハウのもとに、欧州・北米・アジア諸国を中心に、海外向けのカーナビゲーションやGIS^(※1)をはじめ、各種端末向けに、地図データや高速道路における出口周辺情報などのコンテンツを編集して提供する事業です。また、インドでは現地地図会社に対し、技術支援だけでなく営業支援も実施し、利用用途を広げる取り組みも行っています。

<ゼンリンの海外拠点及び現地法人と事業展開エリア>



(※1)GIS:Geographic Information System(地理情報システム)の略。

技術支援・営業支援

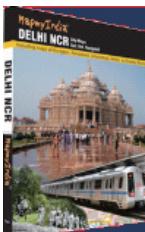
当社は長年国内カーナビゲーション用データを整備し、お客様のご要望に即した形式に編集し提供してまいりました。カーナビゲーションで適切な誘導を実現するためのナビ地図DB^(※2)の仕組みや調査方法、さらには高品質なナビ地図DBとして管理・編集し提供する当社独自のノウハウをもとに、インドの地図会社に技術支援を行っています。また、インドでの事業展開を検討している日系企業に対して、これまでの当社との取引実績や地図データの活用事例を提案し、現地地図会社の地図データ拡販のための営業支援も行っており、今後もアジア諸国に向けた取り組みを広げてまいります。

<インドでの商品・サービス展開イメージ>

カーナビゲーション



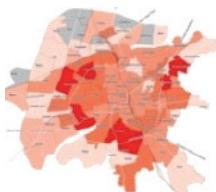
出版物



Web地図サービス



エリアマーケティングGIS



携帯電話向け 地図サービス



移動体管理サービス



2011年にインド地図会社最大手のC.E.Info Systems社(シーイーインフォシステムズ社)と業務・資本提携し、インド市場に進出しました。

同社は、インドの民間地図会社でインド全域を自社にて単独調査しています。

2013年4月には当社インド支店を開設し、同社との連携を強化しながら、日系企業へ販路拡大、商品提供を行っております。



インド支店 二宮

(※2)DB:Data Base(データベース)の略。

付加価値の高いコンテンツ整備と編集ノウハウ

当社グループは1990年代から北米や欧州に駐在員事務所を開設し、その後、グローバル展開の進捗に合わせて現地法人を設立いたしました。

北米や欧州のカーナビゲーションで重要コンテンツとされる高速道路における分岐点情報や出口周辺の施設情報を、現地調査などにより独自に整備しています。

また、これら付加価値の高いコンテンツを各エリアの地図に付与し、各メーカーに対応した地図形式に編集して提供しています。



高速道路の分岐点ガイド

- ・欧州の20カ国をカバー
(約16,000箇所)
- ・北米の2カ国をカバー
(約10,000箇所)



休息所等の情報を付加した

- 高速道路出口情報ガイド
- ・北米の2カ国をカバー
(約39,000箇所)

2. その他事業とは

地図データベース関連事業と関連性の高い一般商業印刷やデジタルサイネージ、ダイレクトメール発送代行を子会社にて展開しています。

一般商業印刷

株式会社ゼンリンプリントテックス

住宅地図帳の印刷で培った高度なデジタルデータ処理能力や印刷製本技術を基に、その総合力とノウハウを一般商業印刷物に展開しています。



情報誌からパンフレットまで

デジタルサイネージ

株式会社Will Smart

デジタルサイネージ機器の企画仕入販売から、デジタルサイネージを活用したソリューションサービスの提供を行っています。



デジタルサイネージ

ダイレクトメール発送代行業業

株式会社ゼンリンビズネクサス

2014年10月より新たに子会社化いたしました同社では、ダイレクトメール発送代行や、インシップ広告を中心に事業を展開し、企業から消費者へ直接アプローチする各種提案を行っています。



P11で詳しく紹介しています

トピックス

2014年10月

防災・減災に関する自治体との連携協定を継続して推進中

当社は2014年10月8日、福岡市と「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を締結し、同様の協定の締結先は76自治体(2014年10月末現在)となりました。防災・減災対策を最重要課題として取り組む福岡市と、災害時に地図提供などの支援活動を行ってきた当社が連携することで防災・減災への対応をより強化していくことを目的としています。今後も平時から自治体との連携を深め人々の安心・安全に貢献するとともに、災害時に必要な情報の提供につとめてまいります。

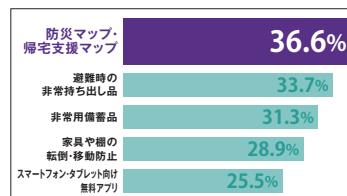


福岡市 高島市長との調印式

2014年9月

防災週間(8月30日～9月5日)にあわせ、「防災意識調査2014」を実施

当社は防災週間にあわせ、一般生活者の防災に関する意識を捉えることを目的とした「防災意識調査」を実施いたしました。当社の独自調査として初めて実施した本調査では、4人に1人は防災を意識していないものの、今後の防災対策として防災マップや帰宅支援マップ等の地図を重要視していることなどが明らかになりました。このような調査等によりニーズを把握し、新しい商品・サービスの開発に活かしてまいります。



「今後の防災対策として考えているもの」
回答結果

2014年9月

ゲーム開発用 3D都市モデルデータの提供を開始し、 ゲーム開発者向けカンファレンス「CEDEC2014」や「東京ゲームショウ2014」に出展

当社は、国内主要都市の街並みを再現したリアルな3D都市モデルデータを制作し、ゲーム開発企業等への提供を開始いたしました。カーナビゲーション向けに整備してきた3D地図データを、ゲーム開発でも利用しやすい汎用性の高い形式に変換し「3D都市モデルデータ」として提供します。

2014年9月2日～4日開催の「CEDEC2014」、2014年9月18日～21日開催の「東京ゲームショウ2014」では、デモゲームを展示し来場者に見て触っていただくことで、直接利用イメージを伝える機会となりました。今後も様々な分野において、当社グループの技術やノウハウを活用できる新たな用途を創出してまいります。



「3D都市モデルデータ」イメージ



「CEDEC2014」会場の様子



当社WEBサイトにて
ゲーム活用イメージを紹介

2014年7月3日

インド進出企業向けにセミナーを開催

当社は2014年7月3日、インド進出・販路開拓を検討している企業向けのインド関連セミナーを、現地でマーケティング等を行っている2社と共同で開催いたしました。セミナーでは地図を利用したマーケティングGISや移動体管理サービスがインドでの営業戦略や市場分析に役に立つことなどを事例と共に紹介いたしました。当社グループは、インドへの進出が増え続けている日本企業向けに地図の用途開発や提案を行うことでインド事業の更なる拡大につなげてまいります。



セミナー資料(抜粋)

2014年10月2日、10日～12日

ゼンリン陸上競技部 藤光謙司選手 第17回アジア競技大会(仁川)1600mリレーで金メダルを獲得

当社陸上競技部に所属の藤光選手が、第17回アジア競技大会で日本代表選手として男子1600mリレーに出場し、4大会ぶりに金メダルを獲得しました。藤光選手は第二走をつとめ、日本男子リレーチームとしては今季ベストとなる3分1秒88を記録しました。

ゼンリン陸上競技部 第62回 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会に出場

当社陸上競技部は山口県で開催された全日本実業団対抗陸上競技選手権大会に出場しました。藤光選手は男子100mと200mで2冠を達成し、男子円盤投では畑山茂雄選手が2位、知念豪選手が4位となりました。



藤光謙司選手



畑山茂雄選手



知念豪選手

2014年10月1日

当社WEBサイトに新規コンテンツ「ゼンリン早分かり」をリリース

この度、当社WEBサイトに「ゼンリン早分かり」を新設いたしました。本コンテンツでは、当社WEBサイトへ訪れていただいた方に、当社のこれまでの歩みや目指していること、65年以上地図を提供し続けてきた当社ならではの強みなどを分かりやすく紹介しています。

今後も随時内容を更新してまいりますのでぜひご覧ください。

「ゼンリン早分かり」

当社WEBサイト HOME>投資家の皆様へ>ゼンリン早分かり
<http://www.zenrin.co.jp/ir/guide/content01.html>



「ゼンリン早分かり」

連結財務諸表

■四半期連結貸借対照表(第2四半期会計期間)

(単位:百万円)

科目	期別 第54期(ご参考) 前連結会計年度 (2014年3月31日)	第55期 当第2四半期 連結会計期間 (2014年9月30日)
資産の部		
流動資産	22,607	18,982
① 現金及び預金	6,631	4,871
② 受取手形及び売掛金	12,070	9,312
電子記録債権	24	52
有価証券	—	2
商品及び製品	979	981
仕掛品	277	598
原材料及び貯蔵品	52	61
③ その他	2,583	3,112
貸倒引当金	△ 12	△ 9
固定資産	35,381	37,300
有形固定資産	16,910	17,308
建物及び構築物	6,140	6,124
土地	8,199	8,087
④ その他	2,570	3,095
無形固定資産	12,804	13,295
のれん	367	321
ソフトウェア	8,388	8,815
その他	4,049	4,158
投資その他の資産	5,666	6,696
⑤ その他	5,804	6,815
貸倒引当金	△ 137	△ 118
資産合計	57,989	56,283

科目	期別 第54期(ご参考) 前連結会計年度 (2014年3月31日)	第55期 当第2四半期 連結会計期間 (2014年9月30日)
負債の部		
流動負債	15,630	12,503
買掛金	2,278	1,648
① 短期借入金	5,774	4,587
未払法人税等	853	196
役員賞与引当金	84	43
その他	6,639	6,026
固定負債	4,419	4,292
① 長期借入金	1,304	1,076
役員退職慰労引当金	127	132
退職給付に係る負債	1,797	1,504
資産除去債務	20	20
その他	1,170	1,558
負債合計	20,050	16,795
純資産の部		
株主資本	35,890	37,166
資本金	6,557	6,557
資本剰余金	13,111	13,111
利益剰余金	19,061	20,339
自己株式	△ 2,840	△ 2,841
その他の包括利益累計額	△ 112	△ 40
その他有価証券評価差額金	144	261
為替換算調整勘定	△ 82	△ 134
退職給付に係る調整累計額	△ 174	△ 167
少数株主持分	2,161	2,360
純資産合計	37,939	39,487
負債純資産合計	57,989	56,283

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表のポイント

- ① 主に借入金の返済を進めたことによるものです。
- ② 前期末は、第4四半期の売上増加に伴い売掛金が増加いたしましたが、当第2四半期連結会計期間末では減少しております。
- ③ 事業再編に伴い、子会社の繰越欠損金に係る繰延税金資産を計上したことによるものです。
- ④ 印刷機の導入やサーバ等の増強によりリース資産が増加いたしました。
- ⑤ 退職給付に関する会計基準等の適用に伴い、退職給付に係る資産を計上したことなどにより増加いたしました。

■ 四半期連結損益計算書(第2四半期累計期間) (単位:百万円)

科目	期別	第54期(ご参考) 前第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	第55期 当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
6 売上高		24,010	22,556
売上原価		14,874	13,764
売上総利益		9,135	8,791
販売費及び一般管理費		9,096	9,100
営業利益(損失:△)		39	△308
営業外収益		239	324
営業外費用		53	35
経常利益(損失:△)		225	△18
7 特別利益		97	403
8 特別損失		154	307
税金等調整前四半期純利益		168	77
法人税、住民税及び事業税		453	375
3 法人税等調整額		△ 275	△ 735
少数株主損益調整前四半期純利益(損失:△)		△ 9	437
少数株主利益		240	243
四半期純利益(損失:△)		△ 250	194

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結包括利益計算書(第2四半期累計期間) (単位:百万円)

科目	期別	第54期(ご参考) 前第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	第55期 当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益(損失:△)		△ 9	437
その他有価証券評価差額金		132	117
為替換算調整勘定		162	△ 72
退職給付に係る調整額		-	7
持分法適用会社に対する持分相当額		△ 40	16
その他の包括利益合計		254	68
四半期包括利益		244	506
(内訳)			
親会社株主に係る四半期包括利益		△ 27	266
少数株主に係る四半期包括利益		272	239

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(第2四半期累計期間) (単位:百万円)

科目	期別	第54期(ご参考) 前第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	第55期 当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
9 営業活動によるキャッシュ・フロー		332	2,492
10 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,028	△ 2,047
1 財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 462	△ 2,459
現金及び現金同等物に係る換算差額		124	△ 64
現金及び現金同等物の増減額		△ 4,034	△ 2,079
現金及び現金同等物の期首残高		8,154	6,456
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		-	329
現金及び現金同等物の四半期末残高		4,120	4,706

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表のポイント

- スマートフォン向けサービスなどの売上が減少したことに加え、子会社のセールスプロモーション事業からの撤退などにより減少いたしました。
- 子会社の事業再編に伴い社員寮、事務所等の売却を進め、固定資産売却益を計上したことなどにより増加いたしました。
- 不稼働資産の減損損失及び、北九州市内の事業所集約に伴う増改築工事による除却損の計上などにより増加いたしました。
- 主に前期末の未払法人税が減少したことに伴い、法人税等の当期支払額が減少したことによるものです。
- 前年同期において、北九州市内の事業所集約に伴う増改築に係る支出があったことなどにより減少いたしました。

グループ会社紹介

株式会社ゼンリンビズネクサス ～地図サービスとの融合により事業基盤を強化～

2014年10月から当社関係会社となりました(株)ゼンリンビズネクサスを紹介いたします。
同社が展開する「ダイレクトメール発送代行」等のノウハウと地図情報の新たな利用用途を
結びつけることで、よりお客様に満足いただける提案を実現してまいります。



事業内容

DM発送代行業業

ダイレクトメール発送代行業務を「トータルサポート」
「カタログ」や「販促DM」などの紙媒体の発送業務を中心に、企業や学校が自社で行っている諸業務の代行、
「コストダウン」「スピードアップ」の提案

ダイレクトプロモーション事業

「費用対効果」を意識した
プロモーションプランの提案
企業が課題とする「新規顧客獲得」に向け、インシッ
プ広告^(※1)など、最適なプロモーションプランを提案

クリエイティブ事業

「売り」につなげるクリエイティブを目指して
多くの媒体、情報があふれる中でもターゲットの興味・
関心を喚起してアクションへと導く「効果的なアプローチ
方法、表現方法」を具現化

(※1) インシッパ広告：特定の顧客等に対して発送する「会員誌」や「通販カタログ」、「クレジットカード請求書」等にチラシやDMを封入する事業。
開封率が高く、新規顧客や見込顧客の獲得に適した広告メディアとして注目されている。

代表メッセージ

当社の経営理念は「出会い創造企業」です。
基盤となる「ダイレクトメール発送代行業業」
は、企業から人びとへの情報をつないでいくもの
で、様々な新しい出会いを創造していく事業となり
ます。また、インシッパ広告も、新しい商品・サー
ビスを人びとに伝えていくツールです。

当社はそのような出会いを創る会社として、今
後もお客様との出会い、繋がり
を大切に、ゼンリングル
ープの一員として、社員一丸と
なって事業に取り組んでまい
ります。



八木沼 社長

会社概要

会社名 株式会社ゼンリンビズネクサス
資本金 1億円
代表者 代表取締役社長 八木沼 修一
社員数 30名(2014年10月1日現在)



沿革 2006年4月 (株)セプターニ(現 (株)セプターニ・ホールディングス)の100%
子会社として『(株)セプターニ・ダイレクトマーケティング』設立
2007年10月 インシッパ事業開始
2014年10月 当社100%子会社化、社名を『(株)ゼンリンビズネクサス』に変更
本店を東京都千代田区西神田1丁目1番1号に移転

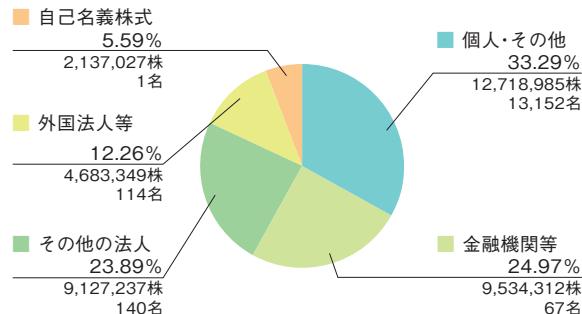
株式の状況 2014年9月30日現在

発行可能株式総数	134,000,000株
発行済株式の総数	38,200,910株
※当社定款に第1種優先株式を発行することができる旨規定しておりますが、発行した第1種優先株式はありません。	
単元株式数	100株
株主数	13,474名

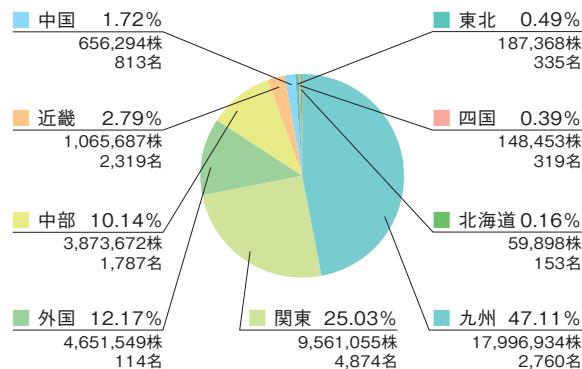
大株主(上位10位)	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社サンワ	3,514	9.74
トヨタ自動車株式会社	2,848	7.89
ゼンリン従業員持株会	1,954	5.41
株式会社西日本シティ銀行	1,800	4.99
ジービーモルガンチエース オープンハイマー ジヤステック レンディング アカウト	1,381	3.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,338	3.71
大迫ホールディングス株式会社	1,263	3.50
大迫 キミ子	900	2.49
株式会社福岡銀行	694	1.92
日本生命保険相互会社	677	1.87

※上記のほか、自己株式が2,137千株あります。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
※お名前の敬称は省略させていただきました。

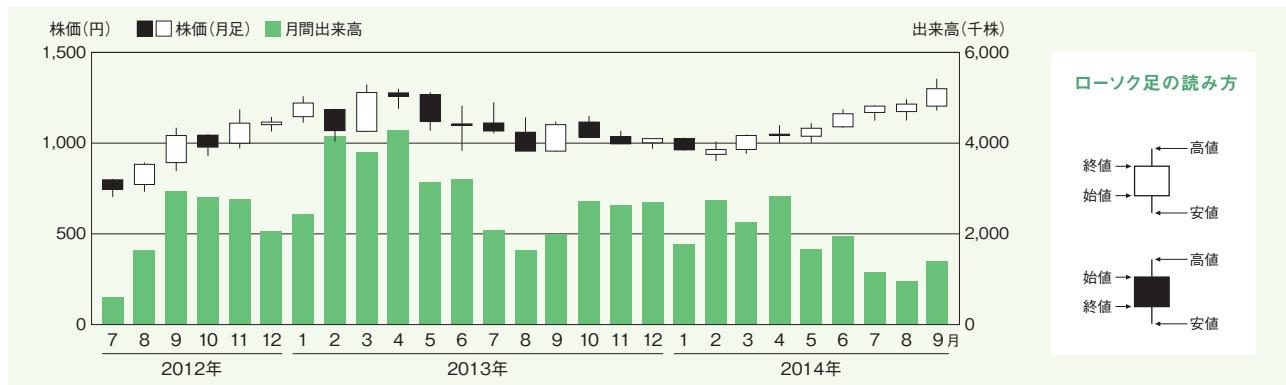
所有者別株式分布状況



地域別株式分布状況



株価・出来高の推移(東京証券取引所)



会社概要 (2014年9月30日現在)

本店所在地	福岡県北九州市小倉北区室町一丁目1番1号
創業	1948年(昭和23年)4月
設立	1961年(昭和36年)4月
資本金	65億5,764万円
就業人員数	2,031名(2014年3月31日現在)
主な事業内容	『知・時空間情報』の基盤となる各種情報を収集、管理し、住宅地図帳などの各種地図、地図データベース、コンテンツとして提供。また、『知・時空間情報』に付帯、関連するソフトウェアの開発・サービスの提供。



北九州市戸畑区の事業所

役員

取締役会長	大迫 正男	取締役	大迫 益男	常勤監査役	稲葉 和彦
代表取締役社長	高山 善司	取締役	清水 辰彦	監査役	弓削田 博 ^(※2)
代表取締役副社長	網田 純也	取締役	塩次 喜代明 ^(※1)	監査役	辻 孝浩 ^(※2)
常務取締役	柏木 順				

(※1) 社外取締役
(※2) 社外監査役

関係会社

株式会社ゼンリンプリンテックス	株式会社ゼンリンデータコム	INFOTRACK TELEMATICS PTE. LTD.
株式会社ダイケイ	ZENRIN USA, INC.	INFOTRACK TELEMATICS PRIVATE LIMITED
株式会社ジオ技術研究所	ZENRIN EUROPE GmbH	C.E.Info Systems Private Limited
株式会社ゼンリンインターマップ	株式会社Will Smart	(ご参考) 当社は株式会社セブテニー・ホールディングスの子会社「株式会社セブテニー・ダイレクトマーケティング」の株式を10月1日付で譲受け、株式会社ゼンリンビズネクスとして当社関係会社といたしました。
株式会社ゼンリンプラスワン	上海大計数据处理公司	

2015年3月期 配当金について

2015年3月期の中間配当金につきましては、前年同期と同額の1株当たり15円とさせていただきます。また、期末配当金につきましても、1株当たり15円を予定しており、2015年3月期の年間配当金は前期と同額の1株当たり30円とさせていただきます予定です。

●2015年3月期の1株当たり配当金

	配当金 (前期比)	
中間	15円	(±0円)
期末(予定)	15円	(±0円)
年間(予定)	30円	(±0円)

上場株式等の配当等に関する「源泉徴収税率」変更のご案内

2014年1月1日以降、上場株式等の配当等には、復興特別所得税を含め、20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されております。

詳細につきましては、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)にてご確認ください。

(※) 所得税15%、復興特別所得税0.315%(所得税額×2.1%)、住民税5%

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 福岡証券取引所

公告の方法

当社の公告は、電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載サイト

<http://www.zenrin.co.jp/koukoku/index.html>

株式に関するお手続きについて

	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
記録された株式 特別口座に	<ul style="list-style-type: none"> ・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所・氏名等のご変更 ・残高照会 ・配当金の受領方法の指定 ・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (通話料無料) ご手続き方法の 音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
証券会社等の口座に 記録された株式	<ul style="list-style-type: none"> ・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外のお手続き、ご照会等 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (通話料無料) 口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください

お知らせ

- 1 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社 ゼンリン

〒804-0003

福岡県北九州市戸畑区中原新町3番1号

www.zenrin.co.jp

本誌に関するお問い合わせ

株式会社ゼンリン 経営管理・IR部 株式・IR課

TEL.093-882-9050 (代表)